

文化ファッション大学院大学の

現状と課題

自己点検報告書

平成 25 年度

平成 26 年 7 月

## 『平成 25 年度自己点検報告書』作成にあたって

本大学院における自己点検・評価の具体的な活動を今年度は

『文化ファッション大学院大学の現状と課題 自己点検報告書 平成 25 年度』

として報告書にまとめた。

本大学院の各種委員会、専攻会議等の取り組みを集約し、この点検・評価の報告書に各組織における審議遂行された現状と自己点検、改善方策等の主要内容を明記し、本大学院の教育目標に共通認識を持って改善の方策に取り組めるよう取りまとめた。

この報告書を作成することを通じ、年度を振り返り、あらためてよかった点、今後の課題等がみえてくる。このPDCAサイクルを繰り返していくことで、本大学院の教育研究活動等がよくなっていることを実感している。来年度は認証評価実施の年に当たる。評価活動を通じ、本大学院の点検・評価がさらに改善されていくことを願っている。

平成 26 年 7 月

教育・研究委員会

# 目次

	ページ
事業計画	1
事業報告	5
ファッションクリエイション専攻会議	11
ファッションマネジメント専攻会議	24
教育・研究委員会	30
学生生活委員会	37

## 平成 25 年度文化ファッション大学院大学 事業計画

### ※中・長期計画

- 1) 起業を目指す修了生のための奨学金制度の構築
- 2) ファッション・ベンチャービジネス・コンテスト主催  
全国の経営学部・商学部等の学生にコンテスト参加を募り、ファッションマネジメント専攻の広報機能を担う。
- 3) 渋谷インキュベーション施設に経営相談コーナーを設置  
インキュベーション施設に入居しているクリエイターや渋谷区内のファッション中小企業を対象
- 4) 平成 27 年度に日本高等教育評価機構による「機関別認証評価」および「分野別認証評価」を同時に受審するために、より一層法令に準じた大学運営を目指す。

### ※平成 25 年度の事業計画

#### 1. 教育、授業関連、学科編成 等

- 1) 定年を迎える専任教員や非常勤講師の担当科目を、若手専任教員への担当変更および新規非常勤講師の雇用
- 2) 平成 24 年度入学生の 2 年次科目「Global Negotiation」を開講する。
- 3) 海外でのインターンシップを積極的に推進する。
- 4) 院生のレベルアップのために、国内外で開かれるコンテストや展示会に積極的に参加する。
- 5) 「ファッションビジネス事業戦略実戦講座」を夏期特別講座として内容・実施時期・実施期間等検討し、渋谷区の後援も考慮に入れて実施する。
- 6) 教育・研究委員会において教授法や授業内容を検討し、院生の要望や成果等を考慮しながらカリキュラム編成を柔軟に対応する。

#### 2. 教職員の研究、研修

- 1) 院生に対し授業アンケートを実施し、その結果について年度末に教員全員参加の検討会を行う。
- 2) 企業等の人事部門の担当者や文部科学省の担当官を招いて、専門職大学院としてどのような人材育成が期待されているかを確認するための講演会を実施する。

#### 3. 教育支援プログラム等の申請

本大学院と企業や官公庁との産学連携事業等や、BFGUファッションウィークについて、文部科学省や経済産業省の推進プログラム等に積極的に申請する。

#### 4. 中・長期計画

- 1) ファッションマネジメント専攻に「(仮) ファッション起業コース」を新設  
入学1年以内に会社を設立し、在学中に経営を始める。(ファッション経営管理コースとはカリキュラムを根本的に代え、新しいカリキュラムを構築する)
- 2) 社会人向けプログラムの構築 (働きながら学べるコース)  
平日5、6、7時限と土曜日などを活用して、必要な単位取得が可能なプログラム
- 3) 中小企業診断士登録養成機関として、中小企業診断士養成課程を併設

## 5. コラボレーション

### ファッションクリエイション専攻

#### ファッションデザインコース

- 1) 夏期特別講座
- 2) 地場産業 視察研修を含むテキスタイル作品制作 複数学生  
尾州・新潟・浜松・J C
- 3) 展示会参加 複数学生 Rooms, PLUGIN ,ジャパングリエイション (J C)
- 4) アパレル起業から委託される社員教育講座 (実績4年 継続依頼による)
- 5) ユニホーム企業から委託される新製品のデザイン開発指導
- 6) NPO日本ファイバーリサイクル推進協会主催、リクチュール委員及びリクチュール塾講師 教員
- 7) 文部科学省委託事業 人材育成プロジェクト参加 教員・複数学生
- 8) BFGU FW中、デザインコースのショーへ、ロシアサンクトペテルブルク国立大学・オーストリアウイーンファッション大学から参加の申し出があり、これを受け入れる。
- 9) 国外からのコラボレーション各社による特別講義を実施  
オーストリアスワロフスキー本社、ドイツポリテープ社、デンマークファー協会
- 10) 島精機 企業研修 (ニットのコンピュータプリント) 教員

#### ファッションテクノロジーコース

- 1) 財団法人日本繊維製品品質技術センターにおいて、品質試験・外観検査等に関する解説及び機器の説明を受ける。
- 2) 縫製工場の受注から出荷までのプロセスを把握し、生産管理データ (工程分析とタイム測定) を調査・分析・検討を行う。そして問題点の抽出をして改善ポイントをまとめ工場へ提案する。
- 3) 昨年に引き続き株式会社ゴールドウィンテクニカルセンターと業務委託契約を締結し、社内パターン研修 (アパレルとスポーツウェアのコラボレーション) 及び、スポーツウェアにおける機能、パターンの共同研究を行う。
- 4) 愛知県、石川県、富山県の生地メーカー、生地加工メーカー、アパレルメーカー、資材メーカーを1、2年次学生全員で見学。
- 5) 知的縫製システム研究会にて共同開発された「エースクラウンハイパーソフト」の実用検証。

- 6) 大手スポーツウェアメーカー社員対象に技術研修 (ナイキ)
- 7) 夏期特別講座

ファッションマネジメント専攻

ファッション経営管理コース

- 1) 企業人からの依頼による社員教育講座
- 2) 企業からの調査研究の受託
- 3) 夏期特別講座

## 6. 国際交流

- 1) オーストリアウィーン市立ファッション大学とのコラボレーション  
本学学生により制作した作品をウィーンでショー開催  
学生、業界への講演 教員
- 2) インスブルック市スワロフスキー本社とのコラボレーション  
同社の製品を使用した作品制作と発表
- 3) サンクトペテルブルク国立デザイン技術大学主催デザインコンテスト  
参加 複数学生 及び 審査員と講演 教員 (実績3年)
- 4) フランスパリ市「TRANOI」展示会参加
- 5) デンマークファー協会 企業研修 複数教員(先方の招聘による)
- 6) ドイツポリテープ社・デンマークファー協会によるコラボレーション  
作品制作と発表 複数学生
- 7) フランスパリ市 パリコレクション視察研修旅行実施(実績6年)
- 8) ロンドン セントマーチンズにて研修旅行実施(実績1年)

## 7. 学生募集、広報活動

- 1) ホームページについて、文部科学省からの指示による公開すべき項目等の整理や、入学希望者のより分かりやすいレイアウトへ改善する。
- 2) 紙媒体の広告を減らしウェブ広告を増やす。
- 3) 国内外における大学・大学院対象の進学ガイダンスへの参加。
- 4) 国内の関連分野の大学への訪問 ⇒ 特にファッションマネジメント専攻の認知度を高めるため授業内容等を説明していく。
- 5) 中国からの受験者増に対応して上海入試の実施

## 8. 就職対応

- 1) 「キャリア形成支援」について、本大学院の特色である実務家教員やその人脈等を活かして院生の要望にあわせて対応する。
- 2) 企業の人事担当者を招いて本大学院のための説明会を実施する。
- 3) 本大学院の特色を企業等により詳しく説明し、求人につなげる。

4) インターンシップを就職のためのひとつの手段として捉え、希望研修先の獲得に努める。

#### 9. 教育環境整備

- 1) 事務室、研究室、実習室等のOA機器（システムを含める）の老朽化対策
- 2) 講義室移動に伴う備品（机・椅子等）の補充
- 3) 教員採用に伴う研究室の備品（机・椅子・キャビネ等）の補充
- 4) 学生会、OB・OG会の備品の新規購入

#### 10. その他事項

- 1) 今年度6回目となる「BFGU FW」について、IFFTIの総会に合わせて開催するためさらに検討を重ね、よりレベルの高いイベントとして披露する。
- 2) 人事、財務関係
  - ①専任教員（実務家 週 2.5 日）1名の退職に伴い、その補充教員（実務家 週 1.5 日）を1名採用
  - ②休日出勤や勤務時間変更等に対応するため人材派遣を終了し、正規の職員（人事異動）または新規採用の職員を増員して派遣社員が担当していた業務をその職員に引き継ぐ。
  - ③空席となるファッションクリエイション専攻研究室の助手を雇い入れる。

平成 25 年度文化ファッション大学院大学  
事業報告書

※中・長期計画

- 1) 起業を目指す修了生のための奨学金制度の構築を検討中
- 2) ファッション・ベンチャービジネス・コンテスト主催  
全国の経営学部・商学部等の学生にコンテスト参加を募り、ファッションマネジメント専攻の広報を兼ねて 2~3 年以内の実施を目途に検討中。
- 3) 渋谷インキュベーション施設に経営相談コーナーを設置  
インキュベーション施設に入居しているクリエイターや渋谷区内のファッション中小企業を対象に検討中
- 4) 平成 27 年度に日本高等教育評価機構による「機関別認証評価」および「分野別認証評価」を同時に受審するための準備として、担当予定の教員、事務職員が文部科学省や機構が主催する説明会等に参加した。

※平成 25 年度の事業計画

1. 教育、授業関連、学科編成 等

- 1) ファッションマネジメント専攻では、2 名の専任教授の定年退職に伴い、ファッションクリエイション専攻より教授 1 名が異動し、1 名の准教授を採用した。
- 2) 平成 24 年度入学生の 2 年次科目「グローバルネゴシエーション」を開講した。
- 3) 海外でのインターンシップについて、ファッションマネジメント専攻では、3 名が中国で、2 名が台湾でインターンシップを行った。
- 4) 2013 年 11 月 16 日(土)10:00~17:00 に文化ファッションインキュベーションにて、「BFGU 秋期特別講座 ファッションビジネス起業講座－企業のための事業計画書作成」(講師：山村貴敬、徳岡敬也)を、渋谷区商工観光課協力のもとで開講した。
- 5) 教育・研究委員会において教授法や授業内容を検討し、院生の要望や成果等を考慮しながらカリキュラム編成を柔軟に対応した。

2. 教職員の研究、研修

- 1) 年度末の 3 月 17 日に、教員が全員参加して院生から提出された授業アンケートについての意見交換を行った。授業内容等については、各教員が院生に対して細やかな指導がなされているとの意見が多かった。
- 2) 3 月に「ディオール社の日本およびアジア地区を含めたグローバルビジネス戦略、教育機関との連携等を通じた人材獲得・育成戦略」をテーマに、クリスチャン ディオール ジャパンのペロー会長の講演会を実施した。

### 3. 教育支援プログラム等の申請

今回は残念ながら、本大学院の特色を活かせるプログラムの公募がなかった。

### 4. 中・長期計画

- 1) ファッションマネジメント専攻に「(仮) ファッション起業コース」を新設するため、新しいカリキュラムを検討中。
- 2) 社会人向けプログラム（働きながら学べるコース）を構築するため、検討中。
- 3) 中小企業診断士登録養成機関として、中小企業診断士養成課程について検討中。

### 5. コラボレーション

ファッションクリエイション専攻

ファッションデザインコース

- ① 株式会社コム デ ギャルソンの 2013 年度新入社員対象に「プロフェッショナルとしての店頭販売の知識という演題のもと、担当教員が各専門に分かれ講義を行った。
- ② 東京都写真美術館にて開催された「アーウィン・ブルーメンフェルド・美の秘訣」の関連イベントとして、2 階ロビーに作品 8 点を展示した。また「新進クリエイターの作品について」という演題で作品解説を行った
- ③ 代々木小学校 3 年次生 60 名が社会科見学の一環で渋谷区の専門学校（文化学園・山野美容専門学校・服部調理専門学校）を訪問した。本大学院では小杉早苗教授より学校説明・ファッション業界の仕組み・服の製作工程等を説明し、また、修了生の作品を例に具体的なデザイン解説を行なった。
- ④ 羽島中学校 3 年次生が校外学習の「東京研修」で本大学院を訪問・見学した。ファッションの分野についての学習を希望し来校した 4 名の生徒に対して、小杉早苗教授より学園組織、B F G U での学生生活、作品製作の詳細について事例をまじえながら解説を行なった。また、あらかじめ生徒が用意してきた関心事についての質問に対して回答した。
- ⑤ 本大学院で初めて J F W - I F F に作品を出した。主催者の「ファッションビジネスの将来を担う、若い才能を応援する」という主旨の元、ファッションデザインコース 5 名の作品計 10 体を出品した。
- ⑥ 播州産地見学に学生 14 名と教員 5 名が参加し、西脇市の織りや染色、その他の加工工場を多数見学した。郷土資料館や美術館へも訪れ、歴史的・文化的な学習も行なった。
- ⑦ H25 年度文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」における「テキスタイルおよびクリエイティブ分野におけるグローバルな人材育成プロジェクト」において、1 年生 4 名が参加し、独自の感性で加工を施した作品 4 体を制作した。制作した作品は、J F W - I F F（ジャパンファッションウィーク インターナショナルファッションフェア）、文化服装学院 B201 における展示お

よびファッションショーで披露し、また、各参加校においても展示を行い、作品を披露した。

- ⑧ 新宿における商店街、企業、行政が一体となり‘文化創造型の街＝新宿’を発信する「新宿芸術天国」。そのメインイベントとして開催される新宿スタイル・コレクションに参加した。ファッションデザインコース 2 年生 3 名、修了生 7 名、計 10 名の作品 32 体で構成し、ファッションショーを行なった。モデルおよびヘア・メイクは、文化服装学院の学生が担当した。
- ⑨ 「ウールの進化・2」日本毛織株式会社との協業によるウールの新しい価値創造をテーマにした第 7 回 FORM PRESENTATION に本学生 2 チーム（デザインコース 2 年次 1 名、デザインコース 1 年次 2 名）が審査の結果選出され、作品を制作し展示を行った。
- ⑩ アッシュ・ペー・フランス株式会社主催による合同展示会「rooms28」の若手支援ブース(YELLOW BOOTH) にデザインコース 2 年 4 名が作品を出展した。
- ⑪ 北いわてに集積している縫製業者のイメージアップと次代の地域産業を担う人材育成を図るため、学生から募集したデザインを、北いわての縫製業者が制作した作品、縫製事業者の制作しているブランド製品、B F G U の学生作品をそれぞれファッションショー形式で披露した。(テクノロジーコースと合同)
- ⑫ ウェア中心の合同展示会「PLUG IN BFGU EXPRESSION」に出展した。  
出展回数 2 回 合計 8 名 計 16 体  
3/25-27 開催 4 名 計 8 体  
10/22-24 開催 4 名 計 8 体

#### ファッションテクノロジーコース

- ① 株式会社ゴールドウィンテクニカルセンターと業務委託契約を締結し、社内パターン研修（アパレルとスポーツウェアのコラボレーション）及び、スポーツウェアにおける機能、パターンの共同研究を行った。
- ② 愛知県、石川県、富山県の生地メーカー、生地加工メーカー、アパレルメーカー、資材メーカーを見学した。
- ③ 知的縫製システム研究会にて共同開発された「エースクラウンハイパーソフト」の実用検証を行った。
- ④ 「サマージャケットの縫製—稲荷田教授によるファイナルワークショップ」をテーマに 70 名の受講生に対して夏期特別講座を行った。

#### ファッションマネジメント専攻

#### ファッション経営管理コース

- ① 「起業のための事業計画書作成」をテーマに、名の受講生に対して秋期特別講座を行った。参加者数 12 名。

## 6. 国際交流

- ① インスブルック市スワロフスキー本社の製品を使用した作品制作と発表を行った。
- ② 今年で5回目となる、ウィーン市立ファッション大学ヘッツェンドルフ校との交流プログラムで、ウィーン市内にあるオデオン劇場を会場に、ジョイントショーを開催した。修了生1名と院生2名が参加し、プロの演出家による演出とプロのヘアメイクアーティストがヘア・メイクをおこない、学生モデルが作品を着装して15体の作品を発表した。
- ③ 台湾 実践大学 2、3年次生を対象とした夏期特別講座を実施した。  
参加者数 20名 (学生18名 教員2名)
- ④ 日本経済の再生に向け、海外の青少年交流を通じて、日本の強みや魅力等の日本ブランドや日本的な価値に関する理解と関心を深めるという観点から、日本政府により進められる事業の一環で、ASEAN加盟国(インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス)、東ティモール、インド、オーストラリア、ニュージーランドの14か国、77名の学生が「日本のファッション」という観点における交流の為本大学院を訪問し、院生とディスカッション等を行った。
- ⑤ 今回で4回目となるロシアサンクトペテルブルク国際コンテスト「International Contest for Young Designers ‘Admiralty Needles’」に参加して、院生5名が各5体の作品、計25体を披露し、5名中4名が最終審査へ進み、1名は全参加作品の総合3位、他2名は「アヴァンギャルド」部門で5位、「プレタポルテ・ディフュージョン」部門で5位を受賞した。また本大学院教員が同コンテスト参加全作品の審査および「日本文化の伝統とファッションデザイン」をテーマに講義を行った。
- ⑥ ロシア最大の日本文化フェスティバル「J-FEST」のファッションショーにおいて、修了生を含む11名48体の作品を披露した。また、同イベントにおいて本大学院教員が「日本文化の伝統とファッションデザイン」「現代日本におけるファッション」と題した講義を2回行なった。
- ⑦ 第6回BFGU FW (2014.1.27~1.31 開催)において、オーストラリア・ウィーン市立ファッション大学ヘッツェンドルフ校、ロシア・サンクトペテルブルク国立技術デザイン大学と本大学院ファッションデザインコース2年次生によるジョイントショーを開催した。同時にスワロフスキー・エレメントを使用した作品もショーおよび展示で披露した。
- ⑧ 20以上のパリコレクション(日本・海外メゾン含む)視察を中心に、展示会や美術館の見学、セレクトショッピングリサーチなどパリの市場調査を実施した。
- ⑨ 日本に対する潜在的な関心を増進させ、訪日外国人の増加を図るとともに、日本的な価値やクールジャパンといった我が国の強みや魅力等の日本ブランドへの国際理解を増進させることを目的とした国際交流プログラム KAKEHASHI Project(北米地域)青少年短期派遣事業(学生クリエイター交流)に参加した。全国から選抜された大学生が米国において日本の魅力等についての情報を発信するもので、本大学院からは、

院生 23 名が派遣され、4 チームにグループ分けし、院生の視点から捉えた日本の文化、ファッション、サブカルチャー、伝統技術の現状を英語でプレゼンテーションを行った。

## 7. 学生募集、広報活動

### 1) ホームページについて、

- ・どこに何の情報があるかわからない程、多かった文字情報をなるべく少なくし、すっきりとしたデザインにすることにより、入学希望者が見たい情報を探しやすくなった。
- ・文部科学省からの指示による公開すべき情報を一つのページにまとめることにより、情報が見やすくなった。
- ・TOPICS ページ(ニュースなどをお知らせ)のアップ作業を運営会社に依頼していたため、アップするまでに最短でも 1~3 日かかっていた TOPICS ページの更新作業を、本学側で更新できるようになったため、ニュースやイベントがあった際にはすぐ更新することができ、いち早く閲覧者にアピールすることが出来るようになった。
- ・利用者の増加しているスマートフォン端末に対応させることにより、より多くの閲覧者に見てもらえる環境を作った。

### 2) 紙媒体の広告を減らしウェブ広告を増やす。

- ・本大学院への入学希望者の多くは 20 代前半~後半の携帯電話の普及とともに育って来た世代なので、紙よりもウェブで情報を集める人が多い。それに伴い、紙媒体への出稿よりもウェブ媒体への出稿の方が、より多くの入学希望者に訴求できる。また、ウェブは一つの媒体に掲載されるとより多くの媒体に派生する可能性が高く、また速度も速いため紙媒体よりも情報が広がる可能性が高い。実際、2014 年 3 月に実施された「KAKEHASHI プロジェクト」のプレゼンテーションの様子が 47NEWS に取り上げられ、日経新聞を含むその他のメディア 20 社以上に掲載された。
- ・ウェブ媒体は紙媒体よりも安価なためより多くの広告を打ち出すことができた。

### 3) 国内外における大学・大学院対象の進学ガイダンスへの参加。

- ・7 月 20、21 日、台湾の高雄、台北での「日本留学フェア」に参加した。

### 4) 中国からの受験者増に対応して上海入試の実施

- ・10 月 17 日、上海において入学試験を実施した。試験監督・面接官は榎下町教授で受験者は 6 名。ほとんどが東華大学日本文化服装学院卒業生であった。

## 8. 就職対応

- 1) 「キャリア形成支援」について、本大学院の特色である実務家教員やその人脈等を活かして院生の要望にあわせて対応する。

- ・キャリアガイダンスを学内の実務家教員が全 3 回実施した。ガイダンスの内容は、前年度と同様に必要書類の書き方、面接（グループ・個人）対策セミナーなどを行い、今年度は、院生の要望にあわせて、ポートフォリオ作成セミナーをはじめて行った。また、外国人留学生対象として、就労ビザについてのガイダンスも例年同様に行った。

2) 企業の人事担当者を招いて本大学院のための説明会を実施する。

- ・文化学園 3 校（文化学園大学、文化服装学院、本大学院）合同で、企業の人事担当者を招いて会社説明会を実施した。その学内選抜試験により、内定を獲得したケースがあった。

3) 本大学院の特色を企業等により詳しく説明し、求人につなげる。

- ・毎年 1～2 月に開催している文化ファッション大学院大学ファッションウィーク（BFGU FW）に参加を促す招待状を企業約 300 社に送付し、企業に参加してもらうことで、本学の特色や学生を企業にアピールし、求人につなげられるよう努力した。

4) インターンシップを就職のためのひとつの手段として捉え、希望研修先の獲得に努める。

- ・授業の一環としてインターンシップを取り入れていることもあり、学内の実務家教員が、企業を訪問し、インターンシップを受け入れる企業の獲得に努めた。

その他) : 中国・上海で、日系アパレル企業及び中国アパレル企業との文化学園 3 校（文化学園大学、文化服装学院、本大学院）合同の企業懇親会を開催し、現地企業との交流、中国人留学生の修了後の帰国就職支援に努めた。

今後の就職受験対策として、内定者に対し内定企業の試験内容を報告書に記述してもらい在学生に公開することを新しく試みはじめた。

## 9. 教育環境整備

- ・開学 8 年目を迎えて、事務室、研究室、自習室等の老朽化した OA 機器の買い替えを行った。
- ・新入生入学のため足りない机、椅子の補充を行った。
- ・院生の研究のために、引っ張り試験機を購入した。

## 10. その他事項

- 1) 今年度 6 回目となる「BFGU FW」について、今回は「クリエイションの核—比類なき創造力—」をテーマに、院生による研究発表・展示・ファッションショーを実施した。またファッションデザイナーの「山本耀司氏」をお迎えして特別講演を行った。5 日間の来場者数は昨年を上回る約 4,600 人と過去最多に達した。
- 2) 専任教授の退職に伴い、准教授を新たに採用した。また、ファッションクリエイション専攻研究室の助手の退職に伴い新たにアルバイト（学院Ⅱ部学生）を雇い入れた。

<p>本年度の課題 (平成 25 年度)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入学生への対応。学生数の増加に対する演習室の整備（ニット実習室の移転など）やコンセプト発表時の持ち時間、終了展示の方法など調整の必要。</li> <li>2.今年度はデザインコース入学時導入集中授業（単位認定無）の必要な学生の数が少なかったが、丁寧に指導することにより、一定のレベルに到達させる。</li> <li>3.夏期特別講座開講はテクノロジーコースにて行う。</li> <li>4.各コースとも、外部からの展示会出展依頼に対する学生参加などを大いに推進する。</li> <li>5.文化学園大学・文化服装学院ほか外部からの要請による特別講義・講演など機会を捉えて学生募集活動（入学案内配布含）を行う。</li> <li>6.文化祭展示において試みで行った2コース1会場は来場者の理解を得られ易いことが確認できたので今年度以後も継続する。</li> <li>7.文化ファッション大学院大学ファッションウィーク（BFGU FW）は専攻（今年度はデザインコース）の特徴アピールに主力をおく。</li> <li>8.クリエイション専攻では、語学力強化のため2種類の英語カリキュラムを導入していたが、次年度は読力・会話力を1科目に統合する。</li> <li>9.企業による社員募集は教員経由で受ける場合が多いため、キャリア支援の担当者と協力して学生の希望に応じていく。</li> </ol>
<p>取り組みの結果と 点検・評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入学生への対応 学生数の増加に伴い、より効率の良い教室環境の整備を行っている。まずはニット実習室を生産工学室に隣接する D 館地下に移動し、学生のスムーズな導線を確認した。今後、デザインコース 2 年生の教室を制作活動によりふさわしい場所に移動、それに伴いアパレルCAD実習室をテクノロジーコースに隣接する場所に移動し、効率化を図っていく。</li> <li>2.デザインコースの集中授業 年々海外からの留学生が増えるにしたがって、デザインコースに必要な立体裁断、平面裁断のスキルアップが必要となってきた。今年度も 7 人の学生がプレ集中授業（単位認定無）を受講した。そのうち留学生は 4 人を数える。</li> <li>3.夏期特別講座について テクノロジーコースによる夏期公開講座「サマージャケットの縫製」を 2 日間にわたり開催した。70 名の受講生が綿、麻素材の一重仕立てジャケット縫製実習を行った。また、デザインコースも台湾の実践大学の学生 20 名を対象に立体裁断、メンズの基礎知識、染色プリントの短期研修を 3 日間開催した。各コースの特色を活かした活気あふれる講座が展開できた。</li> </ol>

	<p>4.外部からの展示会出展依頼</p> <p>本年度の実績として、デザインコースは織研新聞社主催の「PLUG IN」に2回、「IFF」に1回、アッシュペーパーフランスの「rooms」に1回の出展を行った。また、テクノロジーコースは織研新聞社主催の「ファッション・ビジネス・ソリューション・フェア 2014」に初めて出展を果たした。</p> <p>5.学生募集活動（入学案内配布含）</p> <p>今年度も合計6回の特別講義を行ったが本来のアカデミックな講義と併せて、BFGUへの進学のご案内も行った。また年間5回行われたBtoBの展示会（前述）でも本学を認知してもらうために、学校案内の配布を行った。そのため、前年度並みの入学者を確保できた。</p> <p>6.文化祭展示について</p> <p>デザインコース、テクノロジーコースの2コース1会場での展示は各コースの特徴がはっきりと表れるため比較でき、来場者の理解を得られ易く好評を博した。</p> <p>7.BFGU FWの方向性はデザインに主眼</p> <p>今年度のBFGU FWのテーマは「クリエイションの核心ー比類なき創造力ー」のもと、特別講演に世界的デザイナー山本耀司氏を招き、ファッションデザインの神髄をお話いただいた。引き続きデザインコースのファッションショーも行われ、過去最高の入場者数となり大盛況であった。</p> <p>8.英語カリキュラムの整理</p> <p>ファッション英会話A・Bの二つのカリキュラムを、本年度カリキュラム変更によりファッション英会話の1本に統合し、より解りやすくした。</p> <p>9.キャリア支援室との協力体制</p> <p>BFGU単体ではキャリア支援室としての機能を持たないため、文化学園として文化服装学院の協力のもと、多くの就職情報を共有できるようバックアップ体制を構築している。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1.教室の整備</p> <p>デザインコース2年生の教室を制作活動によりふさわしい場所に移動、それに伴いアパレルCAD実習室をテクノロジーコースに隣接する場所に移動し、効率化を図り、設備・施設の充実を目指す。</p> <p>2.若手教員育成</p> <p>ファッションビジネス学会クリエイション教育部門の活動を活性化させ、部会での勉強会や学会での発表、紀要論文投稿などを積極的に行う。</p> <p>3.入学者確保のための活動</p> <p>前年度に引き続き入学者数確保のために、特別講義や入試説明会でのBFGUのプロモーション活動を行う。</p> <p>4.創立10周年にむけて</p>

	<p>BFGU開学10周年を再来年に控え、その活動内容と実働するための組織作り、BFGU FWとの関連性を検討し実施していく。</p> <p>5.国内外でのコラボレーションの推進</p> <p>国の内外を問わず、これまでも様々なコラボレーションを成功させてきたが、次の段階（20周年に向けて）への提案と新しい形の取り組みを思考する時期にきている。これはBFGU FWも同じであり、新たな発想を必要とし、教員各人への活発な意見の交換を求める。</p>
--	--

開催年月日	会議等の開催記録
平成 25 年 4 月 11 日	<p>(1) 教学事務室より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月16日14:00～15:00自衛消防訓練のための授業休講の協力願い。</li> <li>・本年度クリエイション専攻1・2年合計学生数。</li> </ul> <p>(2) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→テクノロジーコース1年生について 半数以上が留学生。卒業後は日本での就職を希望する学生が多い。</p> <p>楯下町→デザインコース2年生について</p> <p>関間→素材論（経営管理コース1年生）について</p> <p>竹内→授業準備について</p> <p>吉田→プレゼンテーション演習ではポートフォリオの認知度の低さを実感。</p> <p>稲荷田→生産システムⅠ、1年生15名と学生数が増えたがレベル差を感じた。 4月17日 ISOサイズ会議に稲荷田、文化服装学院の伊藤が出席。</p> <p>井戸川→生産システムⅠは人数増えたことにより授業進度にやや不安があるものの、管理を徹底する。</p> <p>馬場園→履修相談において留学生の日本語の聞き取り能力に問題を感じている。</p> <p>三品→コム・デ・ギャルソンの社員研修の準備。</p> <p>生川→国によるパソコンの使い方が違い、シラバスの閲覧に不安を感じる。 学生がシラバスをプリントアウトする、または閲覧用のシラバスを学校に用意するなど教学事務室に提案してはどうか。 →会議後提案改良済み。</p> <p>高嶋→授業準備。</p> <p>川田→授業準備。</p> <p>小杉→デザインコース1年生について。初日遅刻者もなく好印象である。学生会よりBFGU FWについてすでに積極的な提案があるが、範囲を越さないよう学生に認識させるべき。 宮本先生がマネジメント研究室へ移動、研究室のレイアウト。 今年度はデザインコース入学時導入集中授業（単位認定無）の必要な学生の数が少なかったが、丁寧に指導することにより、一定のレベルに到達させる。</p> <p>加藤→テクノロジーコース2年生について</p>
平成 25 年 5 月 9 日	<p>(1) 「クリエイション専攻平成25年度の課題」の修正、加筆点を検討。</p> <p>(2) 本年度よりシラバスを教室へ設置、履修届締切後も継続して設置する。</p> <p>(3) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→・テクノロジーコース1年生の近況報告、授業態度も真面目に取り組んでいる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化服装学院でグレーディングの特別講義を行う。 服装科（5月）、高度専門士科4年（6月）</li> <li>榎下町→・デザインコース2年生の近況報告、明るく授業に対しても大変積極的である。</li> <li>・文化学園大学で特別講義を行う。</li> <li>・日本経済新聞6月掲載「クールビズに対応したノーアイロンパンツの評価」について実験中。</li> <li>・デザインコース特別講義（5月2・8日） NHK解説委員 野原明氏 「歌舞伎～歌舞伎にみる能と文楽の関係」</li> <li>関間→・デザインコース1年生デジタルプリントの体験学習の報告。</li> <li>・来週 松田恵理（BFGUデザインコース修了生） リソースセンターで作品発表とワークショップを行う。</li> <li>竹内→・「日本美術概論」、「アパレルテキスタイル演習」の授業状況。</li> <li>・5月15日社員研修のため出張。</li> <li>吉田→・「プレゼンテーション演習Ⅰ」の授業状況。</li> <li>・装苑（6月28日発売）ポートフォリオの特集を監修予定。</li> <li>馬場園→・デザインコース1年生の近況報告、授業に対して積極的に参加している。</li> <li>・特別講義の予定。 日本毛皮協会 matohu</li> <li>・「クリエイション造形演習」の授業状況。</li> <li>・ベルニナミシンを使用した作品をミセスのスタイルブックより依頼あり。本日撮影終了、盛夏号に掲載される。</li> <li>三品→・デザインコース1年生デジタルプリントの体験学習の報告。</li> <li>高嶋→・本日9時より渋谷区代々木の小学生60名、学校見学の対応。</li> <li>生川→・「アパレルCADオペレーション」の授業状況。</li> <li>・デザインコース2年生の近況報告。</li> <li>川田→・本年度より「アパレルソーシング」の授業内で特殊ミシンの使用方法の説明が加わったため新入生の理解が早い。</li> <li>小杉→・4月20日写真美術館「アーウィン・ブルーメンフェルド 美の秘密」の関連イベント「新進クリエイターの作品について」で作品解説、合わせてデザインコースの学生作品の展示も行った。</li> <li>・教育学術新聞、日本経済新聞より取材あり。</li> <li>加藤→・テクノロジーコース2年生の近況報告。</li> <li>・「素材の特性・応用Ⅰ、Ⅱ」東京都産業技術センターで特</li> </ul>
--	--

	別講義を受講した。(4月22日、5月1日の2日間)
平成25年6月13日	<p>(1)「青森大学男子新体操部」7月18日国立代々木競技場第Ⅱ体育館で開催 (主催 MIYAKE DESIGN STUDIO)、リハーサル会場として文化学園が場所を提供。</p> <p>(2) デザインコース夏期講習を7月16～18日に行う。 対象は台湾 実践大学の学生18名、引率教員2名。</p> <p>(3) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→テクノロジーコース本年度夏期特別講座(7月20～21日)の準備。 榎下町→日本経済新聞「新製品バトル」の「専門家の目」へのコメントが6月13日に掲載された。</p> <p>関間→ファッションリソースセンター主催、播州産地見学研修ツアー(8月6～8日)の告知。詳しくはファッションリソースセンター小冊子No.20に掲載。</p> <p>稲荷田→・夏期特別講座の準備。 ・出張報告 東北ミシンショー「国内デザイナーと縫製工場によるトークショー」について</p> <p>竹内→・デザインコース2年生のプレゼンテーションの進行状況。 ・デザイナーと企業のマッチング事業(アパレル産業協会)について現状報告。テキスタイル分野(産地)も参加する予定。</p> <p>吉田→・「プレゼンテーション演習Ⅰ」の授業状況。 ・文化服装学院テキスタイル科よりポートフォリオの特別講義の依頼あり。</p> <p>馬場園→・「クリエイション造形演習」の進行状況。 ・文化ファッション研究機構の研究採択のため6月25日～パリ出張、パリメンズコレクションを視察。</p> <p>井戸川→夏期特別講座の準備。</p> <p>生川→・スワロフスキー社とのコラボレーション企画の進行。 ・デザインコース2年生教室に虫が多発、虫よけで対応。</p> <p>高嶋→・短期研修の準備。 ・授業準備。</p> <p>川田→・夏期特別講座の準備。</p> <p>小杉→・BFGUがオランダの出版社より出版される「世界の大学院」という内容の本に掲載される。 ・アパレル産業協会より生地提供あり。</p> <p>加藤→・テクノロジーコース2年生の就活状況。</p>
平成25年7月11日	<p>(1) 教学事務室より</p> <p>・前期授業アンケート実施の要請。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月24日17:00～A152 ファッションビジネスメソッドの説明会。</li> <li>・本年度よりJFW-IFFの展示会にデザインコースの学生の参加決定。織研新聞のJFW-IFF裏面広告に卒業生の作品が掲載された。</li> </ul> <p>(2) 各教員の活動状況について</p> <p>小杉→・文化服装学院広島校を訪問、特別講義を行った。</p> <p>阿部→・テクノロジーコース夏期特別講座(7月20～21日)の準備定員30名のところ70名の申込みとなったが全員の受け入れを決定した。</p> <p>関間→・ファッションリソースセンター主催、播州産地見学研修ツアー(8月6～8日)募集の結果、学生20名の参加が決定した。</p> <p>稲荷田→・夏期特別講座の準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「モノづくり提言プロジェクト」の第2ステージが開始された。テーマは「メイドインJAPANをどのように位置づけるか」。</li> <li>・7月18日アパレル産業協会主催、アパレル企業MD対象としたセミナーの講師をつとめる。テーマは「ものづくりについて」。</li> <li>・岩手県二戸市で2月に行われるアパレル企業と縫製工場のマッチングフォーラムでBFGUの学生の作品でファッションショーの企画が上がっている。現在協議中。</li> </ul> <p>竹内→・デザインコース2年生のプレゼンテーションの進行状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイナーと企業のマッチング事業(アパレル産業協会)について結果報告。</li> </ul> <p>吉田→・「プレゼンテーション演習I」の授業状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオ点検。</li> </ul> <p>馬場園→・パリ出張報告。</p> <p style="padding-left: 40px;">メンズコレクション、トラノイ展示会、グスタボ・リンス(GUSTAVO LINS)訪問。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション研究機構の研究採択のため6月25日～パリ出張、パリメンズコレクションを視察。</li> </ul> <p>井戸川→・夏期特別講座の準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月6～8日テクノロジーコース 夏期工場見学研修実施。</li> </ul> <p>三品→・ウィーン出張報告。</p> <p style="padding-left: 40px;">6月10～16日ウィーン市立ファッション大学ヘッツェンドルフ校とのジョイントショーの為デザインコース学生3名を引率。</p> <p>生川→・短期研修(台湾実践大学)の準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播州産地見学研修ツアーの準備。</li> <li>・スワロフスキー社とのコラボレーション企画の進行。</li> <li>・ベルニナ刺繍ミシンのレクチャー(学生向け)。</li> </ul> <p>高嶋→・短期研修(台湾実践大学)の準備。</p>
--	---

	<p>川田→・夏期特別講座の準備。</p> <p>榎下町→・文化学園大学（新宿、小平）、文化服装学院に向けた入試説明会の報告。</p> <p>加藤→・夏期特別講座の準備。</p>
平成 25 年 9 月 12 日	<p>(1) 各教員の活動状況について</p> <p>小杉→・文化服装学院 大連校、上海校の入学式のため出張その報告。</p> <p>阿部→・札幌出張その報告。</p> <p>関間→・播州産地工場見学研修8月6～8日の報告。</p> <p>稲荷田→・8月29日「モノづくり提言プロジェクト」の第2ステージの会議が行われた。「全国縫製工場サミット」の開催が決定した。11月23日、場所は文化学園。</p> <p>竹内→・ファッションビジネスメソッドの経過報告。</p> <p>吉田→・ファッションビジネスメソッドの経過報告。</p> <p>馬場園→・播州産地工場見学研修 8 月 6～8 日の報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本人間工学会 衣服人間工学会主催による岩手県久慈市縫製業、盛岡市紡・染・織工房視察 9 月 2～3 日の報告。</li> <li>・ 文部科学省委託事業 産学コンソーシアム本年度も申請が認可され、昨年に引き続き実施される。作品発表は I F F 展示（1 月 22～24 日）、I F F T I 総会期間中における展示およびファッションショー（文化学園内）、各校における展示、D コース 1 年生中心に、参加者を募集し作品を制作予定。</li> <li>・ 一般社団法人 日本国際協力センター主催による国際交流 10 月 3 日開催予定、A S E A N 加盟国、オーストラリア、ニュージーランド、インド、東ティモールの学生約 77 名が訪問予定、学内施設見学、ファッションデザインコース代表学生とのディスカッションを行う。</li> </ul> <p>井戸川→・ファッションビジネスメソッドの経過報告。</p> <p>生川→・ファッションビジネスメソッドの経過報告。</p> <p>高嶋→・ファッションビジネスメソッドの経過報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新宿スタイルコレクションが10月6日開催される、B F G U、D コースの作品30体が13：30より披露。</li> </ul> <p>川田→夏期北竜湖セミナー準備。</p> <p>榎下町→11月9～15日 ロシア出張。（馬場園先生同行）</p> <p>加藤→ファッションビジネスメソッドの経過報告。</p>
平成 25 年 10 月 10 日	<p>(1) 教学事務室より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期北竜湖セミナー学生アンケートを配布。</li> <li>・ 入試について</li> </ul> <p>I 期入試出願者数</p>

	<p>(2) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→・10月7・8日ゴールドウインテクニカルセンターに研修のため出張。  ・パターンメイキング検定1級テクノロジーコース6名合格。</p> <p>関間→・リソースセンターの文化祭イベントの予定。</p> <p>稲荷田→2月23日岩手県二戸で開催される「学生ファッションショー（仮）」への協力要請。</p> <p>竹内→経済産業省よりテキスタイルセミナーを依頼される。</p> <p>吉田→後期授業、11月13日よりポートフォリオ説明会を行う。</p> <p>馬場園→・11月ロシア出張の準備。  ・文部科学省委託事業 産学コンソーシアムの経過報告。  本学からは、デザインコース4名が参加、1人1体作品を制作。文化・ファッションテキスタイル研究所で生地を制作開始する。</p> <p>井戸川→・文化祭準備。</p> <p>三品→・産学コラボレーションプロジェクト「FORM PRESENTATION」、  デザインコース2組審査通過。  11月20・21日開催の「JFW-JC2014展示会」にて展示。  ・文化祭準備。  ・10月22日～PLUG IN出展。</p> <p>生川→・新宿スタイルコレクションの報告。  ・文化祭の準備。  ・デザインコース2年生ヴィジュアルブックの制作について</p> <p>高嶋→・文化祭準備。</p> <p>川田→・文化祭準備。</p> <p>榎下町→11月9～15日 ロシア出張。(馬場園先生同行)</p> <p>加藤→文化祭準備。</p> <p>(3) その他  ・10月16日BFGU FW全体会議 C101。</p>
<p>平成 25 年 11 月 14 日</p>	<p>(1) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→・今週よりパターンメイキング検定（東京）1級の特別講義を始める。</p> <p>関間→・文化祭 I -31展示についての感想。</p> <p>稲荷田→・文化祭展示について  ・12月7・8日 日本橋三越で行われるサンヨーコートフェアでコート縫製の実演を行う。</p> <p>竹内→・デザインコース2年生ポートフォリオの進行状況。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月末ベトナムでテキスタイルセミナーを開催予定。</li> <li>吉田→・デザインコース1年生ポートフォリオの進行状況。</li> <li>井戸川→・昨年度よりBFGUと日本ゴア株式会社のコラボレーションにより消防団のユニフォームを制作していたがそのサンプルが出来上がり、東京国際消防防災展2013に日本ゴア株式会社のブースにて展示された。</li> <li>三品→・BFGU FW準備。来週 Ustreamの打ち合わせを行う。</li> <li>生川→・デザインコース2年生ヴィジュアルブック制作の進行状況。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭展示のタイトル「WWB」についての記事がWWDに掲載されるようである。</li> </ul> </li> <li>高嶋→・デザインコース1年生終了展示準備。</li> <li>川田→・BFGU FW準備。</li> <li>小杉→・文化祭展示についてデザインコースとテクノロジーコースの違いがもう少しははっきりとわかる工夫があってもよかったのではない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月14日「かわいいグランマ コンテスト」審査委員長。</li> <li>・素敵にハンドメイド（NHK）に出演予定、現在テキスト制作中。</li> </ul> </li> <li>加藤→・文化祭展示、I-31 D-17aについての感想。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノロジーコース修了研究の進行状況。</li> </ul> </li> </ul>
<p>平成 25 年 12 月 5 日</p>	<p>(1) 教学事務室より</p> <p>平成 26 年度入試願書出願は 12 月 6 日より、試験は 1 月 18・19 日。</p> <p>(2) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→・ファッションビジネスソリューションフェア 2014 でテクノロジーコースと学校案内の展示を行う。(1月22～24日 ビッグサイト)</p> <p>閻間→・教員研究発表会(2014年3月17日)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションリソースセンター「Sato Seni Exhibition」のお知らせ。</li> </ul> </p> <p>稲荷田→・「〈サンヨー〉こだわりのものづくりトークショー」に出演。(12月7・8日、日本橋三越本店)</p> <p>竹内→・デザインコース2年生ポートフォリオの進行状況。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル向けのテキスタイルセミナー。(東京・大阪)</li> <li>・一宮テキスタイルコンテスト審査員。(12月17・18日)</li> <li>・ベトナムでテキスタイルセミナー。(12月21～27日)</li> </ul> </p> <p>吉田→・デザインコース1年生ポートフォリオの進行状況。</p> <p>馬場園→・BFGU FW準備。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省委託事業 産学コンソーシアムの経過報告。IFFで展示。(1月22～24日)</li> <li>クイントサロンでの展示。(1月28～29日)</li> <li>ミニファッションショー。(1月30日 17:00～17:30)</li> </ul> </p>

	<p>井戸川→・BFGU FW準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月25・26日 ゴールドウインテクニカルセンター出張。 (阿部、稲荷田、加藤、川田同行)</li> </ul> <p>三品→・BFGU FW準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学コラボレーションの報告会に参加。(12月18日) (11月20～21日 J Cでの展示の審査結果と参加学生によるプレゼンテーション)</li> </ul> <p>生川→・デザインコース2年生ヴィジュアルブック制作の進行状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BFGU FW準備。</li> </ul> <p>高嶋→・デザインコース1年生終了展示準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BFGU FW準備。</li> </ul> <p>川田→・BFGU FW準備。</p> <p>加藤→・テクノロジーコース修了研究の進行状況。</p>
<p>平成 26 年 1 月 9 日</p>	<p>(1) デザインコースの外部とのコラボレーション企画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールタイガーに対してデザインコース学生が制服のデザイン提供することが決定した。</li> <li>・東急Bunkamura「デュフィ」展の企画としてフランスリヨンの素材を使用したデザインを依頼された。</li> <li>・H&amp;Mによる世界のファッションスクールを対象としたデザインコンペに参加することが決定した。</li> </ul> <p>(2) 各教員の活動状況について</p> <p>阿部→・12月25～26日 ゴールドウインテクニカルセンター出張。 (稲荷田、加藤、井戸川、川田同行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月28～29日 日本アパレルソーイング工業組合連合会主催のパターンメイキング講習会の講師。</li> <li>・ファッションビジネスソリューションフェア 2014の準備。 (1月22～24日 ビッグサイト)</li> </ul> <p>稲荷田→・12月に行われたパターンメイキング検定1級合格者0人という結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟出張(12月13日)の報告。</li> </ul> <p>竹内→・アパレル向けのテキスタイルセミナー(東京・大阪)の報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナムでテキスタイルセミナー(12月21～27日)の訪問先の工場の様子など報告。</li> </ul> <p>吉田→・文化出版局よりポートフォリオについての書籍の出版が決定した、現在出筆中。</p> <p>馬場園→・BFGU FW準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省委託事業 産学コンソーシアムの経過報告。</li> </ul>

	<p>井戸川→・BFGU FW準備。</p> <p>三品→・BFGU FW準備。</p> <p>生川→・デザインコース2年生ヴィジュアルブック制作の進行状況。 ・BFGU FW準備。</p> <p>高嶋→・BFGU FW準備。</p> <p>川田→・BFGU FW準備。</p> <p>加藤→・BFGU FW準備。</p>
<p>平成 26 年 2 月 13 日</p>	<p>(1) 各教員の活動状況について</p> <p>小杉→・リクチュール塾における卒業生山口さんの活動について さまざまなデザイナーの在り方について感銘を受けた。特別講義 で学生に是非聞かせたい。</p> <p>阿部→・12月25～26日 ゴールドウインテクニカルセンター出張。 (稲荷田、加藤、井戸川、川田同行)</p> <p>榎下町→・KAKEHASHI プロジェクト、参加学生によるプレゼンテーションの準備 と進行状況。</p> <p>閨間→・2月23～25日伝統染色のビジネスモデルについて沖縄に研究出張。</p> <p>稲荷田→・「じぇじぇじぇ！」北いわて学生デザインファッションショーにつ いて、テクノロジーコース1年生のパターン作成の作品が出来上 った。</p> <p>竹内→・2月大妻女子大学でマーケティングの特別講義、BFGUの紹介をし ていきたい。 ・尾州テキスタイルコンテストの審査。</p> <p>吉田→・ポートフォリオの提出、採点。</p> <p>馬場園→・提出物の提出状況。</p> <p>井戸川→・ゴールドウイン出張準備。</p> <p>三品→・提出物点検と採点。 ・すてきにハンドメイド(NHK)の準備。</p> <p>生川→・rooms展示。 ・「じぇじぇじぇ！」デザインコース1・2年生のファッションショー の準備。 ・すてきにハンドメイド(NHK)の準備。</p> <p>高嶋→・提出物点検と採点。</p> <p>川田→・学期末の教室整備。 ・6月のOBOGの総会の準備。</p> <p>加藤→・提出物点検と採点。 ・来年度備品購入。 ・ゴールドウイン出張準備。</p>

平成 26 年 3 月 6 日

(1) 学園グラフの配布、B F G Uこの1年の活動について

(2) KAKEHASHI プロジェクトの経過報告。

3月7日 公開プレゼンテーション C091

3月18～28日 首藤先生、馬場園先生引率

(3) 各教員の活動状況について

小杉→・卒業生の海外での活動と活躍について

阿部→・シラバス

榎下町→・KAKEHASHI プロジェクト、参加学生によるプレゼンテーションの準備と進行状況。

閏間→・沖縄研究出張の報告。

稲荷田→・技能五輪について

・ I D C D E 総会出席。(5月)

・本日で専攻会議出席終了。

竹内→・シラバス

・コム・デ・ギャルソン研修(4月)の準備。

吉田→・シラバス

馬場園→・シラバス

・KAKEHASHIプロジェクト準備。

・コム・デ・ギャルソン研修(4月)の準備。

井戸川→・シラバス

・教員研究発表の準備。

三品→・教員研究発表の準備。

・PLUG IN (3月25～27日)の準備。

生川→・HPのリニューアル。(FW、ヴィジュアルブック)

・備品申請。

・すてきにハンドメイド(NHK)の撮影準備。

高嶋→・パリ出張報告(2月24日～)デザインコース6名引率。

合同展示会(トラノイ、デザイナーズアポイントメント)、

18～20メゾンのコレクションを見学した。

川田→・教員研究発表の準備。

・学位記授与式準備。

加藤→・技能士検定2級をテクノロジーコース1・2年10名、教員1名が受験。

学生8名、教員1名が合格。

・日本モデリスト協会(4月19日)講習会「溶着技法で広がる服作りの可能性」でテクノロジーコースでの授業内容、学生作品の紹介を行う。

<p>本年度の課題 (平成 25 年度)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.教員構成の変化、新科目開設（「ロジカルコミュニケーション」、「テキスタイル生産論」）に合わせて、科目担当者、ゼミ担当者、ゼミ指導の方法などを検討する。</li> <li>2.「フィールドプロジェクト」について、新規インターンシップ先の確保、ファッション企業からの受託調査など、より一層の充実を図る。</li> <li>3.起業プログラムについて、本年度は充実を図る。</li> <li>4.渋谷インキュベーション施設を活用して外部受講者向けの講座を開催する。</li> </ol>
<p>取り組みの結果と 点検・評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.専任教員が2名退任。新任2名。新任教員1名が「ファッションマーケティング論」、「マーケティング戦略論」、「グローバルビジネス論」、及びプロジェクト科目におけるゼミ指導を担当した。もう1名の新任教員が「テキスタイル生産論」を担当した。退任した教員が担当していた「ロジスティクス論」「経営情報システム演習」「ファッションビジネス英語」は新任非常勤講師が担当した。</li> <li>2.「フィールドプロジェクト」については新規インターンシップ先を開拓した。</li> <li>3.起業プログラムについては本年度も1名であったが、順調に推移した。</li> <li>4.渋谷インキュベーション施設を活用した外部受講者向けの講座に関して、2013年11月にBFGU秋期特別講座として、ファッションビジネス起業講座—起業のための事業計画書作成—を開催した。</li> </ol>
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ファッション経営管理コース2年生について、プロジェクト科目（修了研究プロジェクト、フィールドプロジェクト）の一層の充実を図る。</li> <li>2.起業プログラムについて、次年度は実務経験者の入学者が増え、受講者の増加が見込まれることから、ゼミ担当者、ゼミ指導の方法などを検討する。</li> <li>3.大学院外の社会人教育を検討する。</li> <li>4. より国際交流を推進する。</li> </ol>

開催年月日	会議等の開催記録
平成 25 年 4 月 11 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファッションマネジメント専攻在学生について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新年度の新生入生及び2年生学生数確認。</li> </ol> </li> <li>2. 集中講義について</li> <li>3. 履修指導について</li> <li>4. 修了研究プロジェクトについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 4月15日までに学生よりテーマ提出の後、4月16日13:00よりゼミ担当決定会議を行うことに決定。</li> <li>(2) 論文執筆、報告書作成、事業計画書作成の解説の日程について討議し日程を決定。</li> </ol> </li> <li>5. フィールドプロジェクトについて</li> <li>6. 1年次基礎研究プロジェクトについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎研究プロジェクトI-A、基礎研究プロジェクトI-B、履修生とスケジュールの確認。</li> </ol> </li> <li>7. その他               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1年次基礎研究プロジェクトI-Aゼミ担当決定会議を行う。</li> </ol> </li> </ol>
平成 25 年 5 月 9 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 修了研究プロジェクトについて</li> <li>2. フィールドプロジェクトについて</li> <li>3. 1年次基礎研究プロジェクトについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎研究プロジェクトI-A、基礎研究プロジェクトI-B進捗状況の報告と、プレゼンテーションの日程を決定。</li> </ol> </li> <li>4. 自己点検について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成25年度の課題について討議を行う。</li> </ol> </li> <li>5. その他               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研修旅行について</li> <li>(2) 研究計画書提出日の確認。</li> <li>(3) 新生入生歓迎会日程の確認。</li> </ol> </li> </ol>
平成 25 年 6 月 13 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 修了研究プロジェクトについて</li> <li>2. フィールドプロジェクトについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 進捗状況報告、報告書作成など留意事項の確認。</li> </ol> </li> <li>3. 1年次基礎研究プロジェクトについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎研究プロジェクトI-A、基礎研究プロジェクトI-Bプレゼンテーションの日程の確認。</li> </ol> </li> <li>4. その他               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 入試説明会について日程の確認。</li> <li>(2) 海外研修旅行について進捗状況の報告。</li> <li>(3) 秋期特別講座について決定事項の報告。</li> </ol> </li> </ol>

	(4) ファッションビジネスメソッド説明会開催について。
平成 25 年 7 月 11 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 修了研究プロジェクトについて</li> <li>2. フィールドプロジェクトについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 就職活動、内定者について報告。</li> </ol> </li> <li>3. 1 年次基礎研究プロジェクトについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎研究プロジェクト I-A、I-B の成績評価について</li> </ol> </li> <li>4. ファッションビジネスメソッド <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ファッションビジネスメソッド実習についての全体会議および内容について確認。</li> <li>(2) ファッションビジネスメソッド実習の日程について</li> <li>(3) 夏期北竜湖セミナーの日程及び内容について</li> </ol> </li> <li>5. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学内説明会結果報告。</li> <li>(2) 平成 25 年度研修旅行について進捗状況の報告。</li> <li>(3) 秋期特別講座進捗状況について</li> <li>(4) 前期科目の授業アンケート実施について確認。</li> </ol> </li> </ol>
平成 25 年 9 月 12 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夏期北竜湖セミナーについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ファッションビジネスメソッド進捗状況の確認。</li> <li>(2) 夏期北竜湖セミナースケジュールの確認。</li> </ol> </li> <li>2. 修了研究プロジェクトについて</li> <li>3. 1 年次基礎研究プロジェクトについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 後期個人研究スケジュールについて決定。</li> </ol> </li> <li>4. 文化祭準備日の活用について</li> <li>5. 入試 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 試験問題作成について確認、検討会議日程を決定。</li> <li>(2) 試験日の確認。</li> </ol> </li> <li>6. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 25 年度ファッションマネジメント専攻・海外研修旅行について、日程、現地での研修内容など催行についての報告。</li> <li>(2) 秋期特別講座について報告。</li> </ol> </li> </ol>
平成 25 年 10 月 10 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロジェクト科目について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 修了研究プロジェクトの今後のスケジュールについて</li> <li>(2) 1 年次基礎研究プロジェクトの個人研究スケジュールについて</li> <li>(3) フィールドプロジェクト進捗状況の確認。</li> <li>(4) フィールドプロジェクト報告書の提出について</li> </ol> </li> <li>2. 入試について</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 試験日及び受験者数、担当者などの確認。</li> <li>(2) 入試判定会議の確認。</li> </ul> <p>3. 文化祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化祭における入学案内の担当者リスト作成。</li> </ul> <p>4. 秋期特別講座について</p> <p>5. 海外研修結果報告。</p> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) B F G U FW全体会議日程について確認。</li> <li>(2) ファッションビジネス学会全国大会日程について確認。</li> <li>(3) 夏期北竜湖セミナーのアンケート集計結果を確認。次年度へ向けた提案、反省事項について話し合いを行う。</li> </ul>
平成 25 年 11 月 14 日	<p>1. プロジェクト科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 修了研究プロジェクトの今後のスケジュールについて確認。</li> <li>(2) 1 年次基礎研究プロジェクトの個人研究スケジュールについて確認。</li> <li>(3) フィールドプロジェクト</li> </ul> <p>2. 文化祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 入場者数の報告。</li> </ul> <p>3. 入試について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年度入試説明会及び試験日、今後のスケジュール確認。</li> </ul> <p>4. 秋期特別講座について</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) KAKEHASHI プロジェクトについて、進捗状況の報告。</li> </ul>
平成 25 年 12 月 5 日	<p>1. プロジェクト科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 修了研究プロジェクトの今後のスケジュールについて</li> <li>(2) 論文の提出について確認。</li> <li>(3) 1 年次基礎研究プロジェクトの個人研究スケジュールについて確認。</li> <li>(4) フィールドプロジェクト進捗状況の確認。</li> </ul> <p>2. 入試について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) II 期入試応募状況について。</li> <li>(2) II・III 期入試スケジュールについて。</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) B F G U FW研究発表について確認。</li> <li>(2) 紀要研究発表について</li> <li>(3) KAKEHASHI プロジェクトについて、進捗状況の報告。</li> </ul>
平成 26 年 1 月 9 日	<p>1. プロジェクト科目について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 修了研究プロジェクトの今後のスケジュールについて</li> <li>(2) 修了研究発表会のプログラム配布、リハーサルのスケジュール確認。</li> <li>(3) 成績評価会議の日程を決定。</li> <li>(4) 1年次基礎研究プロジェクト個人研究スケジュールについて</li> </ul> <p>2. BFGU FWについて</p> <p>3. 入試について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) II・III期入試スケジュールについて確認。</li> </ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) KAKEHASHI プロジェクト進捗状況の報告。</li> </ul>
平成 26 年 2 月 13 日	<p>1. 修了研究プロジェクト、修了判定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 修了研究プロジェクト、修了判定の今後のスケジュールについて</li> <li>(2) 審査委員会の日程、担当者について</li> <li>(3) 修了判定特別教授会について</li> </ul> <p>2. フィールドプロジェクトについて</p> <p>3. 1年次基礎研究プロジェクトについて</p> <p>4. 入試について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) III期入試スケジュールについて</li> <li>(2) III期入試問題検討会議について</li> <li>(3) III期試験日、担当者の確認。</li> </ul>
平成 26 年 3 月 6 日	<p>1. 学位記授与式について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 3月13日学位記授与式スケジュールについて</li> </ul> <p>2. 入試結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) III期入試結果報告及び、来年度入学者数の確認。</li> </ul> <p>3. 入学式、オリエンテーションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 入学式およびオリエンテーショスケジュールについて確認。</li> </ul> <p>4. 新年度授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 導入集中授業、新年度授業開始日の確認。</li> </ul> <p>5. 修了研究プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業の進行について確認。</li> </ul> <p>6. 1年次基礎研究プロジェクトIについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業の進行について確認。</li> </ul> <p>7. 1年次基礎研究プロジェクトIIについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業の進行について確認。</li> </ul> <p>8. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員研究発表、FD研修のスケジュールについて</li> </ul>

	(2) KAKEHASHIプロジェクトについて報告。 (3) 第32回ファッションビジネス戦略研究部会について
--	--

<p>本年度の課題 (平成 25 年度)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・社会との連携を行う。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 渋谷区の要請により、小・中学生の見学を引き受け、さらに数回の体験教室を開く予定。</li> <li>(2) ファッション産業教育への認知度を高めるため、全国各地の中・高生の修学旅行における見学先として積極的に受け入れる。</li> <li>(3) 主に社会人を対象とした特別講座「ファッションビジネス起業講座」を渋谷区で開く。</li> </ol> </li> <li>2. 講義室・演習室などの移動に伴い、稼働効率などの向上。</li> <li>3. 入学人数拡大のための広報活動強化、特にASEANを重視して、各国に出張講義などを行う。</li> <li>4. 国内外における、インターンシップ参加企業の開発を重視する。(特に留学生対象)</li> <li>5. 年間を通して、公開講座を専攻ごとの日程で実施(学内・外の会場)する。</li> <li>6. 教員の能力向上のためのFD研修・見学など大いに推進する。(授業に支障をきたさないことが条件)</li> <li>7. 若手教員の学外での取材を含めた研究を推奨し、論文(学会、紀要など)発表を奨励する。</li> <li>8. カリキュラムは学生の資質・能力を向上させるため、常時柔軟に検討し、社会的要請にふさわしい見直しを図る。</li> <li>9. 文化学園大学開催の「2014 IFFTI (国際ファッション工科大学連盟) 国際会議」から本学主催BFGU FWファッションショーと講演(シンポジウム)の聴講要請を受け、一層充実した内容に務めるとともに、それに伴う経費を確保する。</li> <li>10. 起業希望の修了生に対し、文化ファッションインキュベーション利用のメリットを知らしめる。</li> <li>11. 客員教授メンバーの見直しをする。</li> <li>12. 学生の研究成果レベルアップのため、文化・ファッションテキスタイル研究所の利用を促していく。</li> </ol>
<p>取り組みの結果と 点検・評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・社会との連携を行う。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 渋谷区の要請により小学生の見学を引き受けた。</li> <li>(2) 中学校 1 校の見学を受け入れた。</li> <li>(3) 主に社会人を対象とした特別講座「ファッションビジネス起業講座」を渋谷区で開いた。</li> </ol> </li> <li>2. 講義室・演習室などの移動に伴い、稼働効率などの向上。</li> </ol>

	<p>(1) 学校当局の計画により今年度は見送りとなった。</p> <p>3. 入学者数拡大のための広報活動強化、特にASEANを重視して、各国に出張講義などを行う。</p> <p>(1) 入学者総数は昨年度より僅か下回ったが、ASEANからの留学生の割合は増した。</p> <p>4. 国内外における、インターンシップ参加企業の開発を重視する。(特に留学生対象)</p> <p>(1) 国内外とも希望者には充実をみた。</p> <p>5. 年間を通して、公開講座を専攻ごとの日程で実施(学内・外の会場)する。</p> <p>(1) 日程は別メニューで2コース(テクノロジーコース、経営管理コース)実施した。デザインコースは海外大学の短期研修を実施した。</p> <p>6. 教員の能力向上のためのFD研修・見学など大いに推進する。(授業に支障をきたさないことが条件)</p> <p>(1) 研修会(グローバル戦略、人材育成について、ディオール社ペロー氏との懇話・懇談会)をおこなった。</p> <p>7. 若手教員の学外での取材を含めた研究を推奨し、論文(学会、紀要など)発表を奨励する。</p> <p>(1) 公開形式で、教員の研究発表会を行った。</p> <p>8. カリキュラムは学生の資質・能力を向上させるため、常時柔軟に検討し、社会的要請にふさわしい見直しを図る。</p> <p>(1) 今年度は教員の定年や他の都合で見直しを図った。</p> <p>9. 文化学園大学開催の「2014 IFFTI(国際ファッション工科大学連盟)国際会議」から本学主催BFGU FWファッションショーと講演(シンポジウム)の聴講要請を受け、一層充実した内容に務めるとともに、それに伴う経費を確保する。</p> <p>(1) 協賛等によるある程度の経費を確保したうえで、要請に答えるに十分なシンポジウムとショーを開催できた。</p> <p>10. 起業希望の修了生に対し、文化ファッションインキュベーション利用のメリットを知らしめる。</p> <p>(1) 今年は満室のため、見送った。</p> <p>11. 客員教授メンバーの見直しをする。</p> <p>(1) 現実に即して、世代交代的な観点から、新旧交代を行った。</p> <p>12. 学生の研究成果レベルアップのため、文化・ファッションテキスタイル研究所の利用を促していく。</p> <p>(1) 厳密には制度構成が完成していないが、自分のクリエイションのため個々に利用した。</p> <p>13. その他</p>
--	---

	<p>(1) 建学の精神について、表記・本文は長いことから分かり易く親しみのあるフレーズを検討した結果、「ファッション知財を世界市場へ」、「Fashion intellectual property for the global market」と決定した。</p> <p>(2) 外務省国際交流基金からの要請で北米地域との青少年交流“KAKEHASHI プロジェクト” に日本人学生と引率の教員が参加、大いに実りがあった。</p>
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公開講座は学生の募集に効果的な内容、ASEANなど海外へ積極的な広報で留学生増加を見込み、ホームページには最新の情報をアップするなど募集活動を強化。</li> <li>2. 文化ファッションインキュベーションを利用して「ファッションビジネス起業講座」など活発に推し進める。</li> <li>3. 教員の質向上のため、研究発表の公開とFDを活発化させる。 特に若手研究員の学外での取材を含めた研究を推奨し、論文(学会・紀要など)発表を奨励する。</li> <li>4. ファッションビジネスメソッドは充実した内容になってきたが、さらに点検見直しをしていく。</li> <li>5. 修了プロジェクト報告書及びサマリーデータ公開について、新規でのホームページ公開はファッションマネジメントのみ。</li> <li>6. 講義室・演習室など教育環境の改善と稼働効率の向上を図る。</li> <li>7. 国内外における、インターンシップ参加企業の開発を重視する。(特に留学生対象)</li> <li>8. カリキュラムは学生の資質・能力を向上させるため、常時柔軟に検討し、社会的要請にふさわしい見直しを図る。</li> <li>9. 起業希望の修了生に対し、文化ファッションインキュベーション利用のメリットを知らしめる。</li> <li>10. 学生の研究成果レベルアップのため、文化・ファッションテキスタイル研究所の利用を促していく。</li> </ol>

開催年月日	会議等の開催記録
平成 25 年 4 月 18 日	<p>1. 2014 年度カリキュラム変更</p> <p>(1)カリキュラム変更:小杉よりデザインコースについて説明、別紙変更願いを承。</p> <p>2. 再試取り扱い</p> <p>(1)経年で見ると再試受験者が増加傾向にあることから、その是非・存続について小出より説明。成績不合格者に対して、再チャレンジの途を残す方策として機能していることから存続を確認。</p> <p>3. 客員教授</p> <p>(1)所属役員を退任された方など数名の委嘱を解き、適切な後任を委嘱・検討。</p> <p>4. 夏期特別公開講座</p> <p>(1)デザインコースは休止。</p> <p>(2)テクノロジーコースは実施。</p> <p>(3)経営管理コースは実施の方向。団体・企業協賛によるワークショップなど内容や時期を見直し、多数の受講者になる様に検討。</p> <p>5. 平成 25 年度 自己点検報告</p> <p>(1)本年度の課題を記す。</p>
平成 25 年 5 月 16 日	<p>1. 秋期特別公開講座</p> <p>(1)ファッションマネジメント専攻より別紙(案)の説明。</p> <p>「ファッションビジネス起業講座(仮)」:10 月土曜日・文化ファッションインキュベーションにて開催予定など。</p>
平成 25 年 5 月 29 日	<p>1. 教員人事</p> <p>(1)今後の人事体制について確認。</p>
平成 25 年 6 月 20 日	<p>1. 建学の精神</p> <p>(1)表記・本文は長いことから分かり易く親しみ易いフレーズを検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知財創造を世界市場へ</li> <li>・ 世界と未来を目指す先端的ファッション教育</li> <li>・ グローバルな独自ブランドを創造する人材の育成</li> </ul> <p>上記三案が提案され教授会にて審議。</p> <p>2. ファッションビジネスメソッド</p> <p>(1)日程確認。</p> <p>3. 研究費規程</p> <p>(1)現行に則して一部文言の訂正した規程・素案の検討。施行は平成 26 年度 4 月 1 日より。</p>
平成 25 年 7 月 18 日	<p>1. 建学の精神</p> <p>(1)「ファッション知財を世界市場へ」として提案。</p> <p>2. 夏期北竜湖セミナータイムスケジュール</p>

	<p>(1)原案の説明、了承。</p> <p>3. 授業アンケート 学期途中での実施</p> <p>(1)事務方からの表記提案に対して</p> <p>「複数教員担当による授業等多く、期中では評価が得にくいのでは…」などから見送りへ。</p>
平成 25 年 9 月 13 日	<p>1. カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー</p> <p>(1)公表できる様に明確化する。教学事務で原案作成へ。</p> <p>2. 教員研究発表会</p> <p>(1)教員の研究成果の公表として従来、毎年紀要を発刊していたが、これを2年に1回とし、発刊しない年は教員研究発表会に当てる(即ち、隔年毎にする)。従って今年度は研究発表会とし予定は3月17日。発表会は外部にも公開する。なお、同日に FD 研究も実施(授業評価アンケート講評、外部講師に依る講演等)予定。具体的スケジュールは研究発表者数、講師の予定に依る。</p> <p>3. 2014 年度年間授業日程表</p> <p>(1)追再試の日程を増やす。試験科目については今年と同じ、夏休み前とするが、レポート評価科目については夏休み最終日(FB メソッド開講前)までにする日程を組む。</p> <p>4. 2014 年度時間割決定スケジュール</p> <p>(1)原案、教学事務から説明。</p> <p>5. 夏期北竜湖セミナーグループ発表会</p> <p>(1)原案、教学事務から説明。</p>
平成 25 年 10 月 17 日	<p>1. 2014 年度カリキュラム変更</p> <p>(1)テクノロジーコースカリキュラム変更。(講師退任のため)原案別紙、了承。</p> <p>2. カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー</p> <p>(1)原案別紙、一部文言訂正で了承。</p> <p>3. 建学の精神のキャッチフレーズ「ファッション知財を世界市場へ」の英訳</p> <p>(1)Fashion intelligence for the global market、Fashion intellectual property to the world market など建学の精神を的確に表現するフレーズを更に検討。</p> <p>4. 2014 年度年間授業日程表</p> <p>(1)来年度学園カレンダー案を受けて策定、11月の予定。</p> <p>5. 北米地域との青少年交流” KAKEHASHI プロジェクト” 派遣教員の承認</p> <p>(1)実施内容:アメリカ 2014年3月18～28日</p> <p>当プロジェクトに教員2名(首藤真一、馬場園晶司)、学生23名派遣。</p> <p>学生は応募者から選考。</p> <p>6. 秋期特別公開講座</p> <p>(1)実施内容:別紙。</p>

平成 25 年 11 月 21 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2014 年度カリキュラム変更       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) カリキュラム変更:ファッションマネジメント専攻、別紙案件を了承。</li> </ol> </li> <li>2. 単位履修に関する細則改定       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 16 条 公欠条項のうち法定伝染病に関する表記を訂正、別紙案件を了承。</li> </ol> </li> <li>3. 留学生の出欠確認       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 留学生の在籍状況確認の協力を。</li> </ol> </li> <li>4. 建学の精神のキャッチフレーズ「ファッション知財を世界市場へ」の英訳       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 【10 月案】Fashion intelligence for the global market 【11 月案】Fashion intellectual property for the global market 委員会からは【11 月案】を次回教授会提案へ。</li> </ol> </li> <li>5. 2014 年度年間授業日程表       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日程の提案(別紙)、他校の状況を踏まえ次回の委員会にて審議。</li> </ol> </li> </ol>
平成 25 年 12 月 12 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2014 年度カリキュラム変更       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) カリキュラム変更:ファッションテクノロジーコース、別紙・原案を了承。</li> </ol> </li> <li>2. 2014 年度時間割       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 別紙・原案の検討。</li> </ol> </li> <li>3. 2014 年度年間授業日程表       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 別紙・原案の検討</li> </ol> </li> <li>4. 建学の精神のキャッチフレーズ「ファッション知財を世界市場へ」の英訳       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 別紙・原案の検討、 薩田先生からの意見も参考に。</li> </ol> </li> </ol>
平成 26 年 1 月 16 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建学の精神 英訳       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 別紙資料、英訳を審議、決定へ。</li> </ol> </li> <li>2. F D 研修会       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 3 月 17 日 9:20~12:30 教員研究発表会(9 件予定) 午後:授業アンケート講評、講演;LVMH・ディオール日本支社長等依頼へ。</li> </ol> </li> <li>3. B F G U 10 周年       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実施の方向で検討、準備委員会設立等。</li> </ol> </li> </ol>
平成 26 年 2 月 3 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. F D 研修会       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講師の意向をふまえ検討。</li> </ol> </li> </ol>
平成 26 年 2 月 20 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2014 年度カリキュラム変更       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) マネジメント専攻カリキュラム変更・別紙資料検討、了承。</li> </ol> </li> <li>2. F D 研修会       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 3 月 17 日 教員研究発表会(8 件) 9:20~12:10 I-31 研修会 13:00~15:00 ディオール社ペロー氏との懇話・懇談会 B-044 (グローバル戦略、人材教育などについて) 授業アンケート・総括 15:00~16:00</li> </ol> </li> </ol>

	<p>3. 教員審査規程</p> <p>(1) 教員選考基準施行細則・第 14、15 条の検討、意見を踏まえて教学事務で原案作成。</p> <p>4. ポートフォリオ、プロジェクト報告書閲覧</p> <p>(1) 修了研究におけるポートフォリオ、プロジェクト報告書の閲覧方法を確認。閲覧者は原則として教職員・学生、閲覧に際しては台帳記入およびロッカー鍵管理の徹底。</p> <p>5. プロジェクト報告書およびサマリーのデータ公開</p> <p>(1) BFGUホームページや図書館ディポジトリ（オンラインデータベース）に掲載の方向で進める。教員研究発表会等も公開対象にする等。</p> <p>6. 教員授業感想</p> <p>(1) 非常勤講師による感想、来年度授業に反映することを確認。</p>
平成 26 年 3 月 7 日	<p>1. 授業中の映像撮影</p> <p>(1) 授業の録音および撮影は原則禁止とする。（学生には「禁止」として通達。）ただし、教育効果を考え必要と教員が判断した場合、個々に許可を出す。講師連絡会時に徹底。</p> <p>2. 教員審査規程</p> <p>(1) 原案通り了承。</p> <p>3. プロジェクト報告書およびサマリーのデータ公開</p> <p>(1) 新規でのホームページ公開は F マネジメント専攻のみ。 数名、修了研究プロジェクト報告書のタイトルおよびサマリーを掲載。 今年度修了生分より公開。</p>

<p>本年度の課題 (平成 25 年度)</p>	<p>1.院生の学内生活向上と研学を図り母校の向上と発展に資することを目的とする。本年度課題を各分科会ごとに検討し、学生生活委員会にてその審議をはかる。</p> <p>(1) BFGU OB・OG会 (会の運営及び活動内容について)</p> <p>(2) キャリア支援 (就職活動の補助と就職率の向上)</p> <p>(3) BFGU学生会 (会の運営及び活動内容について)</p> <p>(4) 留学生支援 (留学生における学内生活の支援)</p> <p>(5) 学内 4 校合同の総合学生生活委員会への参加</p>
<p>取り組みの結果と 点検・評価</p>	<p>1.上記 5 項目についての結果・評価</p> <p>(1) BFGU OB・OG会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OB・OG会を発足して以来、第 2 回総会を 6 月 1 日に行い、役員の変更と追加を行った。</li> <li>また、修了生による講演会の実施と規約の変更を行った。</li> <li>・BFGU OB・OG会第 2 号会報を会員に発送。</li> <li>・紫苑学生会館にOB・OG会室を設けた。</li> <li>・月間 1 度の運営会議を行った。</li> </ul> <p>(2) キャリア支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションビジネス就職セミナー及び全国就職ガイダンスの告知。</li> <li>・学内就職セミナーを開催した。</li> <li>第 1 回 9 月 6 日 書式について</li> <li>第 2 回 10 月 23 日 面接について</li> <li>第 3 回 12 月 18 日 キャリアポートフォリオ</li> <li>・上海企業懇談会の参加と学生への告知を行った。</li> <li>・文化学園合同企業説明会の参加及び告知。</li> <li>・平成 25 年度修了生の就職状況のまとめ。</li> </ul> <p>(3) 学生会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会を主催。</li> <li>・一部学生会規約の変更を行った。</li> <li>・夏期北竜湖セミナーにて懇親会を主催。</li> <li>・紫苑学生会館に学生会室を設けた。</li> <li>・講演会を 3 月 12 日に行った。</li> <li>・月間 1 度の定例会議を行った。</li> <li>・学生会として備品 (PC、プリンタ等) を学校に寄贈。</li> </ul> <p>(4) 留学生支援 について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生へのリサーチ及び留学生支援プログラムの内容検討。</li> <li>・次年度において名称の変更と年間 4 回の支援プログラムを行った。</li> </ul> <p>(5) 総合学生生活委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化学園内 4 校の学生生活委員会代表各 2 名と総務代表 2 名で隔月に 1 度開催される総合学生生活委員会に参加。</li> </ul> <p>学生・地域の安全と治安、設備・施設の提案、モラル向上等の為に運営。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1. 院生の学内生活向上と研学を図り母校の向上と発展に資することを目的とする。来年度課題を各分科会ごとに検討し、学生生活委員会にてその審議をはかる。</p> <p>(1) BFGU OB・OG会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外支局の設立。(もしくは連絡員の任命)</li> </ul> <p>(2) キャリア支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内での就職率の向上と独自のセミナーの開講。</li> </ul> <p>(3) BFGU学生会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生間の交流と質の向上。</li> </ul> <p>(4) 留学生支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称変更と対象者を留学生から在学学生全般とする。</li> <li>・「ソーシャルサポートプログラム」としてセミナーの開講。</li> </ul>

開催年月日	会議等の開催記録
平成 25 年 4 月 25 日	<p>(1) 副委員長、書記、分科会担当者の決定</p> <p>(2) 学生生活委員の役割の確認 ・学生生活委員の役割、各分科会の活動内容の確認及び新委員への説明を行う。</p> <p>(3) 今後の学生生活委員会活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①「第1回運営会議」の報告、会報、総会案内の発送などについて報告。</p> <p>②5月21日に第2回運営会議開催、6月1日の総会に向けた準備を進める。</p> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①6期生修了後状況について別紙の配付及び説明。</p> <p>②修了後状況、留学生の就職状況について、各コースの現状報告、意見交換を行う。</p> <p>③4月24日アッシュ・ペー・フランス株式会社による3校合同企業説明会開催。</p> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①今年度学生会運営委員、定例会スケジュールについて別紙を配布、確認を行う。</p> <p>②第1回定例会を5月1日開催。学生におこなったアンケート結果なども考慮し、今後の活動内容の決定、準備を進める。</p> <p>③学生会主催「新入生歓迎会」を5月22日学食で開催予定、今年度運営委員で準備を進める。</p> <p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①今年度活動内容、留学生対象日本語講座具体案を委員（井戸川・三品）で検討、次回委員会で報告を行い、討議する。</p> <p>(4) その他</p> <p>①BFGUスカラシップ制度について、学生の認知を高めるべく、告知など行ってはどうか。</p> <p>②国際交流センターの文化学園スチューデントアンバサダー募集について、ポータルサイトで告知中。</p> <p>③次回委員会終了後、ハラスメント委員会を引き続き行う。</p>
平成 25 年 5 月 16 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①5月21日 第2回運営会議開催。</p> <p>②昨年度指摘のあったOBOG会規約の見直しは後日確認。</p>

	<p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①「ファッションビジネス就職セミナー（マイナビ）」、「全国就職指導ガイダンス（日本学生支援機構）」について別紙の配付及び説明。</p> <p>②「全国就職指導ガイダンス（日本学生支援機構）」に横倉事務長が参加予定。</p> <p>③今後のキャリア支援について</p> <p>・9月5・6日 I-22 にて開催予定</p> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①学生会規約改定について別紙の配付及び説明。</p> <p>②5月1日「第1回定例会」報告。</p> <p>・担当教員から委員に向け、学生会の目的と役割、規約を改めて確認。</p> <p>・委員の自己紹介、各役割の決定。</p> <p>□委員長：桑原 圭祐（D2）</p> <p>□副委員長：リン ソウリュウ（B2）、パ ショウホウ（T1）</p> <p>□会計：リン シヘイ（B2）、中野 里香（D1）</p> <p>□書記：青木 智美（B1）</p> <p>③年間の活動内容について検討。</p> <p>・「新入生歓迎会」、「講演会」、「夏期北竜湖セミナーでの懇親会」、「学内の環境改善活動（ポスター作成等）」等の企画を実行し、学生が研究しやすい環境を整えていきたい。</p> <p>④学生運営委員の連絡方法について</p> <p>・委員長が委員全員の連絡先を把握し一斉送信する。</p> <p>⑤運営委員以外の学生への告知方法について</p> <p>・I館1階の掲示板、g-mail での一斉送信を活用。</p> <p>⑥備品購入について</p> <p>・学生運営委員会専用の購買カードの発行申請中。</p> <p>・その他仮払い申請、個人立て替え等を利用し、学生会費の円滑な運営を目指す。</p> <p>⑦学生会主催「新入生歓迎会」について</p> <p>・準備進行状況の報告。</p> <p>会場レイアウト、食事の内容等が決定。当日の役割と進行の確認を行った。</p> <p>□会場レイアウト：学生と教職員が自由に交流できるレイアウトを考案。コミュニケーションの訓練の場としても上手く活用してほしい。</p> <p>□出欠席確認：学生・教職員参加総数 137 名。（非常勤講師 2 名を含む）</p> <p>□参加費：様々ご意見があったが、先生方からは徴収しない方向に決定。</p> <p>・参加範囲について</p> <p>教員は専任の先生方のみであるが、委員の手違いで非常勤講師の先生 2 名</p>
--	--

	<p>にお声かけをしてしまった。今回は出席するが、次回からは参加不可。</p> <p>⑧次回定例会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月26日開催予定だったが特別講義が入り変更。(前後一週間で検討中)</li> </ul> <p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①今年度活動内容、留学生対象日本語講座具体案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生に限らず日本人を含めた全学生対象のプログラム(イベント・セミナー)を立案したい。</li> <li>・留学生が日本人と、よりよいコミュニケーションを図る有益な場として、そして、日本の文化を広く知ることができるような場として活用して頂けるような企画を考案したい。</li> </ul> <p>②文化外国語専門学校の授業見学について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N2レベルを目指している学生に対して、プロの講師がどのように接しているのか、また、イベント等の情報を共有。</li> <li>・今月中に、N2を目指しているクラスの授業を1コマ実際に見学させていただく。</li> <li>・この見学を踏まえて、大学院レベルの学生生活委員会としてどのようなことが出来るか情報交換・共有していきたい。</li> </ul> <p>③今後の留学生支援の具体案</p> <p><input type="checkbox"/> 防災関係・・・防災の知識と意識を高めると共にコミュニケーションを図るプラン。</p> <p>案1) 防災マニュアル、帰宅ルートの作成。</p> <p>案2) 東京都防災対策課、地域防災学習交流会への参加。(講義形式)</p> <p>首都直下地震の備え、地域防災力の向上等、要望により内容の変更が可能。参加費用：無料 申し込み締め切り：5月20日 開催期間：6月17日～9月30日</p> <p><input type="checkbox"/> 日本の伝統的な作法・・・日本の伝統作法や技術を、実体験を通して学ぶプラン。</p> <p>案1) 茶席ケータリング“くうもん”(体験型)</p> <p>1時間/和室用のセット：5万 洋室用：15万円</p> <p>日本橋にある店舗にて体験も可能→少し安価になる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現代カルチャー・・・日本の漫画、アニメ、ファッションに興味のある留学生が多い。伝統ではなく現代のカルチャーに焦点を当てたプラン。※現在三品先生の知人であるイラストレーターに打診中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着物の着付け・華道・茶道等は、職員クラブで講義している講師の方々や学校関係者へ打診を検討。</li> <li>・金額的にもなるべく外部に出向くのではなく、学園内で可能な範囲の企画</li> </ul>
--	---

	<p>を考案し、日本人も含めた全学生が興味も持てる内容で、尚且つ一コマで出来る内容の講座を企画する必要がある。</p> <p>④以上を踏まえて、委員の意見交換。</p> <p>□防災関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が分かりづらい。理解が難しいのではないか。</li> <li>・危機管理として非常に大切な要素であるため、開催する場合は強制でも良いのではないか。</li> <li>・地震に対して不安のある学生も多いため、やる価値はある。</li> <li>・避難訓練のような体験型にすれば集客出来るのでは。例えば消火訓練等の実施。</li> </ul> <p>□日本の伝統的な作法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人でも知らない文化を知識として学生のうちに経験しておく価値はある。</li> <li>・日本語学校で日本の作法について経験している留学生も多くいる。</li> </ul> <p>案1) お金をかけずに大学院レベルの著名な方を招き指導を受ける。</p> <p>案2) ゆかたを制作し、その後、近隣のお祭りや花火大会への参加という発展もしやすい。しかし、実物代のゆかたの制作は難しいのではないか。作業する教室も検討が必要。</p> <p>案3) 小杉教授がウィーンで行ったワークショップ。(紙による2分の1の浴衣制作)</p> <p>□現代カルチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅が広い為、内容を絞る必要がある。</li> <li>・好みが分かれる為、企画としては難しいのではないか。</li> <li>・著名なクリエイターを呼ぶ等の企画でないと、集客が見込めないのではないか。</li> </ul> <p>□全体を通しての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを実施して、学生が何を求めているのかを調査する必要があるのではないか。</li> </ul> <p>Gmailでもアンケートの配信・集計が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションのアップを目指すのであれば、講義ではなく体験型の方が記憶として残るのではないか。</li> <li>・例えばワークショップ形式の企画、ポートフォリオの一部になるような企画等。</li> <li>・参加しておけば良かったと思わせる企画の検討。</li> <li>・日本語能力の向上だけを目的にするとつまらなくなる。</li> <li>・シリーズとして最初は集客の狙える企画を行い、間に防災関係の企画を入れ込んでいくのはどうか。</li> </ul>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインコース 1 年生は、日本の美・美学・茶道・香道の授業がある為、内容的に重複する点がある。</li> <li>・日本で就職を希望する学生は、情報を求めているためこのような場が必要である。</li> <li>・方向性：方向性は日本を意識した企画で進めていく。</li> <li>・参加対象：参加意欲のある学生は日本語ができる場合が多い。日本語のできない学生は、留学生同士で行動する傾向にあり、同時に日本語の向上意識が少ないため上達していかない。この企画は、基本的に日本語向上意欲のある学生を対象にしたものとし、それらの学生の能力を伸ばすことに重点を置く。</li> </ul> <p>⑤受講料の徴収について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には無料で参加できる企画を考案したい。しかし、土壇場でのキャンセルを避ける為にも材料費等は徴収すべきである。</li> </ul> <p>⑥次回定例会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の意見交換を踏まえて、井戸川・三品でもう一度検討し、より具体的な企画を提案する。</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自己点検報告書」について別紙の配付及び説明、委員の承認を得た。</li> </ul>
平成 25 年 6 月 20 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①5月27日「第3回運営会議」開催。</li> <li>②6月1日「平成25年度 第2回BFGU・OBOG会総会」報告。別紙配付及び説明。</li> <li>・特に「規約の変更」、「役員の変更と追加」について詳細説明。</li> <li>③7月2日「第4回運営会議」開催。</li> <li>・新規役員との顔合わせを行う予定。</li> </ul> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①9月6日「第1回キャリアガイダンス」開催。</li> <li>・10：00～2時間程度。場所は人数に応じて決定。</li> <li>・参加は申し込み制。(専攻・学年問わず参加可能)</li> <li>・「第2回キャリアガイダンス」10月開催を検討。</li> </ul> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①5月22日「新入生歓迎会」報告。</li> <li>・委員長が中心となって、円滑に準備を行うことができた。</li> <li>・食事の面で、ベジタリアン等を考慮したメニュー考案が必要。</li> <li>②6月24日「第2回定例会」開催予定。</li> </ul>

	<p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①「文化外国語専門学校の授業見学」報告。</p> <p>□5月22日14:00～ N2レベル 7～8名のクラスを見学。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N2レベルは想像以上に難しく、片手間では指導できないレベルだと感じた。 (授業で使用したプリントを委員に回覧)</li> <li>・日本に留学している段階で、日本の伝統文化に対する興味がある学生が多い。 授業でも日本の伝統文化に触れると興味の高さを実感する。このような日本文化についての講座を開くことに価値があると確信した。</li> </ul> <p>②「留学生支援プログラム」内容検討。</p> <p>□学生生活委員会として「留学生支援プログラム」の“最終目的”、どこを目指して支援をしていくべきなのか意見統一を図る。最終目的：日本語のレベルアップ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語のレベルアップは、授業の理解度を高め、専門知識・技術の向上へと繋がる。</li> <li>・コミュニケーション能力を高め、就職へと繋がるようなプログラムを考案。</li> </ul> <p>□検討中の具体案</p> <p>案1) 着物・浴衣 案2) 茶道 案3) 落語(話芸)</p> <p>□意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の理解度の向上及び論文対策として長文の読解力は必須。落語でプロの話家の言葉に触れる事は非常に良いのではないか。</li> <li>・集客面の課題として、学生に対して予備調査が必要。(興味のあるものはどれか、希望する学生はどのくらいいるのか。)</li> <li>・この講座を経験することで、課題や作品へとフィードバックされるようなプログラムであれば学生の集客率は上がる。</li> <li>・この意見交換を踏まえ、たたき台を作成。各コースで予備調査を行い、時期等を明確にしていく。</li> </ul>
平成 25 年 7 月 18 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①7月31日「第5回運営会議」報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫苑学生会館内の委員会室設置に伴う備品等の購入について検討。</li> <li>・10月末に2回目の会報を発行予定。</li> <li>・文化祭期間中に合わせて委員会室を一般公開。</li> </ul> <p>②9月25日「第6回運営会議」開催予定。</p> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①BFGUキャリアガイダンスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回BFGUキャリアガイダンス 9月6日実施内容報告(資料配布)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回／「面接（グループ・個人）対策セミナー」10月23日開催予定。</li> <li>・第3回／「ポートフォリオ作成セミナー」11月1日開催予定。</li> </ul> <p>②BFGU就職受験報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の就職受験対策として、内定者に対し内定企業の試験内容を報告書に記述するよう依頼。情報の提示方法は、ネット上での公開を検討中。</li> <li>就職受験報告書のフォーマット内容検討の為、各コースの内定者に記述依頼をし、次回の委員会にて回収・内容の検討を行う。</li> </ul> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①夏期北竜湖セミナー「懇親会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備の最終確認を行う。</li> <li>・各国に加え、日本各地のお菓子を集めて紹介する等、昨年度よりもレクリエーションの充実を図っている。</li> </ul> <p>②10月9日「第3回定例会」開催予定。</p> <p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①「留学生支援プログラム」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施予定の茶道プログラムに関してスケジュール調整難航のため、10月開催予定を2月開催へ変更。</li> </ul>
平成 25 年 9 月 13 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①7月31日「第5回運営会議」報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫苑学生会館内の委員会室設置に伴う備品等購入について検討。</li> <li>・10月末に2回目の会報を発行予定。</li> <li>・文化祭期間中に合わせて、委員会室を一般公開。</li> </ul> <p>②9月25日「第6回運営会議」開催予定。</p> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①BFGUキャリアガイダンスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回BFGUキャリアガイダンス 9月6日実施内容報告。(資料配布)</li> <li>・第2回／「面接（グループ・個人）対策セミナー」10月23日開催予定。</li> <li>・第3回／「ポートフォリオ作成セミナー」11月1日開催予定 時間未定。</li> </ul> <p>②BFGU就職受験報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の就職受験対策として、内定者に対し内定企業の試験内容を報告書に記述するよう依頼。情報の提示方法は、ネット上での公開を検討中。</li> <li>就職受験報告書のフォーマット内容検討の為、各コースの内定者に記述依頼をし、次回の委員会にて回収・内容の検討を行う。</li> </ul> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①夏期北竜湖セミナー「懇親会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備の最終確認を行う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各国に加え、日本各地のお菓子を集めて紹介する等、昨年度よりもレクリエーションの充実を図っている。</li> <li>②10月9日「第3回定例会」開催予定。</li> </ul> <p><b>【留学生支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「留学生支援プログラム」について</li> <li>・実施予定の茶道プログラムに関してスケジュール調整難航のため、10月開催予定を2月開催へ変更。</li> </ul>
平成 25 年 10 月 17 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①9月25日「第6回運営会議」報告。</li> <li>・紫苑学生会館内 委員会室設置に伴い、備品購入について検討。</li> <li>・10月末に2回目の会報を発行予定。(現在、紙面作成と梱包作業準備中。)</li> <li>・文化祭期間中に合わせて、委員会室を一般公開。運営委員が交代で常駐し案内を行う。</li> <li>②10月22日「第7回運営会議」開催予定。</li> </ul> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①BFGUキャリアガイダンスについて</li> <li>・第2回／「面接（グループ・個人）対策セミナー」 10月23日（16：50～18：20）[G-301]開催予定</li> <li>・第3回／「ポートフォリオ作成セミナー」11月開催予定</li> <li>②BFGU就職受験報告書について</li> <li>・各コースで回収した就職受験報告をもとに今後の方針を検討。</li> <li>・就職受験報告書は、紙媒体でファイルにまとめ、I館4階にて閲覧できるよう設置。</li> <li>・より情報が集まり次第、ネットでの公開を検討。</li> <li>・今後は内定者のみでなく、就職受験をした学生全体に向けアンケートの記述依頼を行う。</li> </ul> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①10月9日「第3回定例会」報告。</li> <li><input type="checkbox"/>北竜湖研修懇親会の反省</li> <li>・当日の準備と進行が円滑に行うことができた。</li> <li>・各国のお土産が余るため、数量と予算の調整が必要。</li> <li><input type="checkbox"/>その他</li> <li>・今年度、学生会主催イベントを企画検討中。(講演会等)</li> <li>②11月27日「第4回定例会」開催予定。</li> </ul> <p><b>【留学生支援】</b></p>

	<p>①「留学生支援プログラム」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施予定であった茶道プログラムは保留し、再度学生の意見聴取を経てプログラムを検討。</li> <li>・11月27日開催予定のBFGU学生会「第4回定例会」にて委員を対象に意見聴取を行う。</li> </ul>
平成 25 年 11 月 21 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①現状報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭期間中の委員会室 一般公開について報告。訪問人数：5名。</li> <li>・会報発行の報告。(詳細は次回運営会議後に報告。)</li> </ul> <p>②11月22日「第7回運営会議」開催予定。</p> <p><b>【キャリア支援】</b></p> <p>①BFGUキャリアガイダンス 第2回／「面接(グループ・個人)対策セミナー」報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数が非常に少なかった。</li> </ul> <p>原因：クリエイションの課題提出前であった為。</p> <p>②マネジメント専攻対象にキャリアポートフォリオ制作セミナー開催検討中。</p> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①BFGU FW招待状デザイン希望者あり。</p> <p>②11月27日「第4回定例会」開催予定。</p> <p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①「留学生支援プログラム」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月27日BFGU学生会「第4回定例会」にて委員を対象に意見聴取を行う。</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア支援を文化学園でひとつにまとめるという案がある。</li> <li>・修了生より中途採用相談が来た場合、青木先生に一報する。</li> </ul>
平成 25 年 12 月 12 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①「第7回運営会議」報告。12月3日[学長室]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常業務の報告。</li> <li>・来年度に行う総会・講演会について検討。(講演者未定)</li> </ul> <p>②「第8回運営会議」2月10日[学長室]開催予定。</p>

	<p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①BFGUキャリアガイダンスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回／「ポートフォリオ作成セミナー」開催予定。(マネジメントを対象としたセミナー)</li> </ul> <p>12月18日5限(16:50~18:20)[I-22]</p> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①「第4回定例会」報告。11月27日5限[学生会館]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生会主催のイベントについて／BFGU FW学生運営委員会について／学内環境改善活動について／留学生支援活動について話し合いを行った。</li> </ul> <p>②「第5回定例会」について 2月5日5限[学生会館]開催予定。</p> <p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①「留学生支援プログラム」について</p> <p>「第4回定例会」11月27日5限 委員を対象に行った意見聴取報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っているようで知らない社会生活上の些細なマナー・作法を学びたいという意見が多数。</li> </ul> <p>例) 冠婚葬祭のマナー、社会人としてのマナー、病院でのマナーなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生は日本での人脈を広げたい。／交流パーティーの開催、外国語の勉強会</li> <li>・留学生支援→“学生支援プログラム”とし日本人学生も対象に幅広く企画の検討を行う。</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教勧誘：遠藤商店にて勧誘多数、注意喚起。</li> <li>・駐輪場：自転車に許可証シールを必ず貼るよう呼びかけを行う。</li> <li>・禁煙促進：喫煙所に境界線を設置検討中。</li> </ul>
平成26年1月16日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①「第8回運営会議」2月10日[学長室]開催予定。</p> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①3校合同「留学生対象就職ガイダンス」について</p> <p>1月20日(16:20~17:50)[A-044]開催予定。</p> <p>講師：東京外国人雇用サービスセンター</p> <p>現在参加者を募集中。</p> <p>②3校合同「上海企業懇親会」について</p> <p>2月27日(17:30~19:00)[グランドメルキュール虹橋上海]開催予定。</p> <p>2年目の参加。</p> <p><b>【BFGU学生会】</b></p>

	<p>①「第5回定例会」について 2月5日5限[学生会館]開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生会主催特別講演の内容検討について</li> </ul> <p><b>【留学生支援】</b></p> <p>①「留学生支援プログラム」について</p> <p>プログラム：会社内外マナー、学内マナーを中心としたビジネスマナー講座を検討中。（初回を受けて次回の内容検討を行う。）</p> <p>開催時期：年度内は困難、新年度早々の開催を検討中。</p>
平成 26 年 2 月 20 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <p>①「第8回運営会議」報告。 2月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP作成についての検討。</li> <li>・来年度総会で行う講演会について検討。</li> </ul> <p>6月28日、7月5日 Bun Caféにて開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回会報を作成中。</li> <li>・海外支部設立について検討。</li> </ul> <p>現段階では、韓国・台湾支部を発足予定、中国は適任者が見つかれば次第発足。</p> <p>②「第9回運営会議」について 日程未定[学長室]開催予定。</p> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <p>①3校合同「留学生対象就職ガイダンス」報告。</p> <p>1月20日（16：20～17：50）[A-044]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数 申込：16名 出席：8名（すべて留学生）</li> </ul> <p>②3校合同「上海企業懇親会」について</p> <p>2月27日（17：30～19：00）[グランドメルキュール虹橋上海]開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募人数 申込：14社 20名 今後増える予定。</li> <li>・昨年度参加人数 申込：44名 出席：38名</li> <li>・中国就職希望エントリーシート提出状況。現在20名以上の提出あり。</li> </ul> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <p>①「第5回定例会」報告 2月5日5限[学生会館]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生会主催特別講演について</li> </ul> <p>マガジンハウス「GINZA」編集長 中島 敏子氏に承諾を頂き、現在日程と講演内容を相談中。</p> <p>先方の都合により来年度になる可能性もあり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生会室備品について検討。</li> </ul> <p>パソコン、プロジェクター、文房具等を購入予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度 学生会委員長の選出について検討。</li> </ul> <p>②「第6回定例会」について 3月5日5限[学生会館]開催予定。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のまとめと来年度の引き継ぎを行う予定。</li> </ul> <p><b>【留学生支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「留学生支援プログラム」について <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：専攻別の学内マナーについて</li> <li>開催時期：新年度4月9・16日を予定。</li> <li>講演者：各コース 教員3名による講演を検討。</li> </ul> </li> <li>(2) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月25日（14：00～）避難訓練。</li> <li>・5月5日ドレスコード開催。</li> <li>・4月から食堂が値上がり、喫煙所が小さくなる。</li> </ul> </li> </ul>
平成 26 年 3 月 7 日	<p>(1) 各分科会の活動について</p> <p><b>【BFGU・OBOG会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「第9回運営会議」について 日程未定</li> </ul> <p><b>【キャリア支援について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①3校合同「上海企業懇親会」報告。 <ul style="list-style-type: none"> <li>2月27日（17：30～19：00）[グランドメルキユール虹橋上海]</li> <li>・今後の参加については検討が必要。</li> </ul> </li> <li>②H. P. FRANCE 企業説明会 開催予定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/7（16：30～17：30）[A045]、学院対象4/18</li> </ul> </li> </ul> <p>※BFGUは両日とも参加可能。</p> <p><b>【BFGU学生会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「第6回定例会」報告。3月5日（13：30～14：30）[学生会館] <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のまとめ、来年度の引き継ぎ、学生会委員長の選出について検討。</li> <li>・購入備品の検討。（今年度の会費余り分は自習室のPC等備品購入に充てる予定。）</li> </ul> </li> <li>②「講演会」開催について3月12日（13：30～15：00）[I-31]開催予定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生会主催特別講演について</li> <li>現段階で在学生40名出席予定。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【留学生支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「留学生支援プログラム」について資料配布。</li> </ul>